

### ●普段はどんな仕事をしていますか？

施設では入所者60人と短期入所の利用者が3フロアに分かれて生活しており、私は3フロアを担当しています。60人中59人が最重度の知的障害で行動関連項目は10点以上の強度行動障害の方々と、生活のリズムを整えられるようサポートしています。私たちが考える生活のリズムは「よく食べ、よく寝て、よく出す」そして「安心」です。まずは基本的な生理環境の質を整えて、困っている状態にならないことを前提とした生活プログラムや支援を提供しています。

### ●この仕事のおもしろさや醍醐味は何だと思いますか？

強度行動障害の方の支援は障害特性に配慮した柔軟な思考や発案力が必要になるため、支援や工夫を思いついた時はワクワクします。

以前に感覚過敏（視覚、聴覚、人から受ける刺激も含む）の軽減支援に悩んでいた時、温かい光の中で心地よい接客があるホテルのような環境がイメージとして浮かんだことがあ

#### profile

1985年10月生まれ 兵庫県出身  
2008年3月 大阪医療福祉専門学校  
2015年4月 社会福祉法人陽気会 入職  
趣味 草野球、メダカ飼育  
休日の過ごし方  
子どもと遊ぶことと習い事の送迎



りました。支援者が日常的に行う「報・連・相」は、プログラムの微調整や支援員間の引き継ぎなど、細部を把握するためのもので多いのですが、利用者の目の前で利用者に不要なやり取りを多くしていることに思い当たりました。不必要な情報や刺激の多い環境は利用者にとって不快や不安でしかないのではと考え、インカムとダウンライトを導入し、利用者が

# いきいきスタッフ

IKI IKI STAFF

兵庫県・社会福祉法人陽気会 障害者支援施設よろこび荘  
生活支援員（リーダー）

おの すぎ こう じ  
大杉晃司さん



不安を感じそうな話はインカムでの共有を徹底し、活動空間はダウンライトで明るさを抑えました。解決が難しいケースも多いですが、考えた支援に少しでも成果がみられたり、利用者が安心して過ごせている時にやりがいを感じます。

### ●仕事をする上で最も重要だと思っていること、日頃から心がけていることは何ですか？

重要なのは自身のマインドを「揺れない精神」にすることです。私は起床後のルーティンによって自身の気持ちを整えて出勤しています。支援する自分が不安定な状態では利用者を不安にさせたり、些細な変化に気づけないかもしれません。また、「プライベートを充実させること＝仕事のモチベーション」と考えているので、たくさん遊んで私生活を充実させています！日頃からチームメイトの些細な変化に気づけるようアンテナを張ってみたいです。

### ●支援に悩んだ時や困った時はどうしていますか？

支援に「絶対の正解」はありませんが、その方の最適解を探すために「よく知る」ことが必要だと思います。そのために知識を深める努力を重ね、施設長や各フロアのチームリーダーや現場チームの看護師、管理栄養士などと気軽に相談から真剣な議論や専門的アドバイスをもらえる環境を整え、みんなで同じ方向を見ながらトライ&エラーを繰り返して、その方の「最適」を探しています。